

特別研究室からのお知らせ



西洋の航海記や冒険書、明治大正期の行政資料など貴重な書籍を手にとってご覧いただけます。

■ 特別研究室ナイトセミナー好評開催中

ナビゲーターによる「本日の一冊」を紹介した後、書架を探索し、参加者がそれぞれ「自分の一冊」を発掘して、お互いに紹介し合います。

開催日時など詳細は日比谷図書文化館ホームページをご覧ください。4階特別研究室にお問い合わせください。

会場：4階 特別研究室 時間：18:30～20:00 参加無料

特別展示室

12月28日(水)まで
開催中!

開館記念特別展

「日比谷が熱く燃えた日 団塊の青春グラフィティ」

1965年～1974年の10年間、いわゆる「団塊の世代」が青春を謳歌した時代をクローズアップ。当時の雑誌やポスター、流行した映画や音楽、ファッションなど、世相を示す幅広い展示を行います。

会場：1階 特別展示室 日時：開催中～12月28日(水)
10:00～22:00(土曜 19:00、日・祝 17:00まで) ※入室は閉館30分前まで
入場料：一般 300円(区民150円) 高校・大学生200円(区民100円)
※中学生以下、障がい者手帳をお持ちの方および付添の方は1名無料

常設展示室

「環境・都市・人間」を基本軸とし、千代田区の歴史と文化を紹介します。

■ 必見! バーチャル侍

江戸城で行われた幕府の儀式や大名の登城を豊富な挿絵で解説した『徳川盛世録』を映像化。著者である武士、市岡正一自身が解説しています。

会場：1階 常設展示室 入場無料
時間：10:00～22:00(土曜19:00、日・祝17:00まで)



Library Shop & Cafe Hibiya
[ショップ&カフェ]

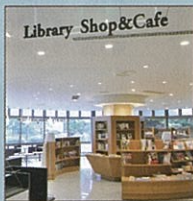
カフェでは、図書フロアの本、ショップで購入した本をお読み頂けます。淹れたてのコーヒーや軽食をどうぞ。

営業時間：平日11:00～19:00
土・日・祝日11:00～17:00

■ ショップにて「作家書店」実施中!

10名の個性的な作家が参加し、各氏が読んでほしいと思っている本を揃えました。

谷川俊太郎、養老孟司、福岡伸一、佐藤優、いがらしみきお、萩尾望都、伊坂幸太郎、瀬名 英明



図書フロア

図書フロアは棚ごとに特集テーマを組んでいます。開館記念特集をご案内します。

2F ORANGE ZONE

オレンジゾーン — ビジネスとキャリアアップ —

■ メイン展示 仕事セレクト『もしも東京出身のサラリーマンが東北で農業をはじめたら?』
農業を始めたいと思ったとき、何をすればいいのか? 日比谷一家の就農までを追いました。

■ 展示 『大人女子の底力UP!』
『How to Use スマートフォン+タブレット』

2F PURPLE ZONE

パープルゾーン — 千代田、まちと歴史 —

■ メイン展示 『日比谷図書文化館が受け継いだ東京・千代田の蔵書群』
時代を越え当館に受け継がれた旧一橋図書館・旧駿河台図書館などの蔵書群を紹介します。

■ セクション展示 『帝国劇場100年』『江戸切絵図展示』『舞台は江戸城!』

3F GREEN ZONE

グリーンゾーン — 現代に生きるための情報 —

■ メイン展示 『日比谷図書館の歴史』

旧・都立日比谷図書館の設立から、当館開館に至るまでの歩みを、写真や資料で紹介いたします。

■ セクション展示 『光に向かって』『世界のミステリー紀行』『科学×技術×情熱 ～不屈の探求者たち～』『防災』『宇宙へ』『心とからだにうれしい香り』

3F BLUE ZONE

ブルーゾーン — 創造(アート・文学・ひと) —

■ アート情報 支援コーナー フィンランド写真展『白夜の国からハニカミを～フィンランドの子どもとポストカード展～』

■ メイン展示 『日比谷1957～社会・産業・ファッション』
高度成長・百貨店・おもちゃ・バービー・帝国ホテル…
つながりを読み解きます。

■ セクション展示 『水と鏡』『追悼2011』『文学賞あれこれ』



access

都営三田線「内幸町」徒歩3分
東京メトロ千代田線・日比谷線・丸ノ内線「霞ヶ関」徒歩5分

千代田区立
日比谷図書文化館
Hibiya Library & Museum

http://hibiyal.jp

◎お問合せ先：日比谷図書文化館
〒100-0012 千代田区日比谷公園1-4
TEL: 代表 03-3502-3340
図書総合カウンター 03-3502-3343
開館時間：10時～22時、土/～19時、日祝/～17時
休館日：毎月第3日曜日および年末年始
(12月29日～1月3日)

pomone vol.2
2011年12月号

知との
遭遇。



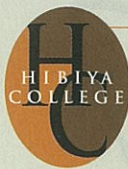
11月4日に開館してから早くも1カ月が経とうとしていきます。多くのお客様に来館頂き、「まるで建物全体が本の(ミュージアムのように)との声を頂戴しています。お目当ての本を借りるだけでなく、あわせてミュージアムや図書特集展示から新たな興味・関心事を見つけていただければ嬉しいのです。

今年最後に、まだ出会えていない本との巡り逢いに、ぜひお越しください。

※年末年始は12月29日から、1月3日まで休館とさせていただきます。

contents

特別研究室・特別展示室・常設展示室・ショップ&カフェのご案内
日比谷カレッジ今月の講座
図書フロアのご案内



日比谷カレッジ [2011年12月の講座]

■参加申込:電話(03-3502-3340)またはEメール(college@hibiyajp)にて、講座名、お名前(よみがな)、お電話番号をご連絡ください。当館1階の受付でもご予約を承ります。各講座ともに定員になり次第、締め切らせて頂きます。キャンセルの場合は、ご連絡ください。

■特別展「日比谷が熱く燃えた日 団塊の青春グラフィティ」関連イベント

12/20 (火) ライブイベント第5回: 昭和歌謡のタベ

団塊世代に送る懐かしの昭和歌謡曲を、オリジナル世界観で再現。そこへボトルシアターより招かれた瓶コレクター・ビン博士が絡み、昭和の匂い漂う異空間ライブが実現します。

日時:12月20日(火)19:00~20:00(18:30より受付)
出演:伊左治直(ピアノ)、新美桂子(歌)、
ビン博士(ギター)
会場:4階 スタジオプラス(小ホール) 定員:60名 参加料:1500円(ドリンクチケット付)



■もう一度みたい! 団塊の青春シネマ



『「あのころ」の日本映画がみたい!』の著者による映画小断付き、団塊世代の青春映画上映会。

出演:立花珠樹(共同通信社編集委員)
会場:地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
定員:150名 入場料:800円

12/9 (金) 第1回『東京流れ者』

(1966年/監督 鈴木清順/出演 渡哲也、松原恵子)
「流れ者には女はいらねえんだ」。渡哲也が演じた不死鳥の哲は、何とかつよかったことか。鈴木清順監督の独自の美学が満喫できる作品。極彩色の鮮やかな映像に酔ってほしい。(DVD上映)
日時:12月9日(金)13:30~15:30(13:00より受付)



12/16 (金) 第2回:『八月の濡れた砂』

(1971年 監督 藤田敏八、出演 村野武範、広瀬昌助)
石川セリのけだるい主題歌が今も心に残る。70年安保も学園闘争も敗北した後の、若者たちのしらけた気分が投影されていた。「海とヨット」の青春映画の傑作。(DVD上映)
日時:12月16日(金)18:30~20:30(18:00より受付)



12/2 (金) 日比谷図書文化館開館記念 アフタヌーンクラシックコンサート



開館を記念して、弦楽四重奏コンサートを開催します。午後のティータイムに感動とくつろぎのひとときを。

日時:12月2日(金)
14:00~15:30(13:30より受付)
出演:カルテット・セレシア
vn. 前田奈緒、福岡雄也、viola 高橋 梓、cello内田佳宏
曲目:ハイドン「皇帝」
ベートーヴェン「弦楽四重奏曲第1番」より
モーツァルト「アイネ クライネ ナハトムジーク」ほか
会場:4階 スタジオプラス(小ホール) 定員:60名 入場料:500円

■アート情報支援コーナー フィンランド写真展関連イベント

12/7 (水) しあわせのハートをつくろう! ~北欧切絵のクリスマスツリーオーナメント~

北欧のクリスマスに欠かせない「クリスマスハート」は切り紙のオーナメントです。作り方を覚えて、ツリーや部屋に飾ってみませんか?

日時:12月7日(水)19:00~20:30(18:45より受付)
出演:ナシエ(イラストレーター) 会場:4階 セミナールームA
定員:24名 参加料:1000円(材料費込)



12/10 (土) ワンコインセミナー 旅のコラージュ ~フィンランドのクリスマスとライフスタイル

クリスマスの様子、冬の醍醐味オーロラ、北欧デザイン・ライフスタイルなど、フィンランド旅行を満喫するポイントをフィンランド政府観光局長がお話しします。最後はゲームでクリスマスプレゼントが当たるかも!

日時:12月10日(土)14:00~15:30(13:30より受付)
出演:能登 重好(フィンランド政府観光局VisitFinland日本代表)
会場:4階 スタジオプラス(小ホール) 定員:60名 参加料:500円

12/17 (土) メリクリ、ミミクリ ~2ヶ国語で楽しむマウリ・クンナス絵本朗読会~

フィンランドで国民的に有名な絵本作家マウリ・クンナスの絵本を、フィンランド大使館のスタッフが日本語・フィンランド語の2カ国語でお聞かせします。別名「猫の言葉」と呼ばれるフィンランド語の響きを本場ネイティブの発音でご堪能ください。

日時:12月17日(土)14:00~15:30(13:30より受付)
出演:Suvi Paavola(スヴィ・パーヴォラ 駐日フィンランド大使館スタッフ)
会場:4階 スタジオプラス(小ホール) 定員:60名 参加料:500円



12/24 (土) クリスマス映画会『Reindeer Princess(トナカイ姫)』 ~激しいまでに美しい少女の物語~

トナカイと共に生きるフィンランドの先住民族サーメ人の少女を追ったドキュメンタリー映画を上映。北欧映画ディストリビューターによる解説付き。

上映作品『Reindeer Princess』 監督:ニルス=ジョン=ポルサンガー(Nils John Porsanger) / 2007年 / ノルウェー / 28分 / 日本語字幕 / 配給:北欧映画.com (DVD上映)

日時:12月24日(土)14:00~15:30(13:30より受付)
出演:橋本晴子(北欧映画.comディレクター) / 北欧映画を上映する『みゆき野映画祭in斑尾』主催者)
会場:地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
定員:150名 入場料:500円

12/9 (金) Why Dialog? ~ワーク&ライフを深める対話~

深層から生まれる言葉を共有し、次のアクションにつなげる道筋を明らかにするのが、対話<ダイアログ>です。ダイアログはなぜ必要なのか? コーピングのバイオニア、ファシリテーターの達人である本間氏と、プロセスデザイナーであり対話の場を設ける活動を展開している西村氏と来場者とともに討論します。

日時:12月9日(金)19:00~21:00(18:30より受付)
出演:本間 正人(成人教育学博士。NPO学習協会代表理事)
西村勇也(ダイアログBar代表/ミラック(NPO申請中)代表理事)、宝槻泰伸
会場:4階 スタジオプラス(小ホール) 定員:60名 参加料:3000円



江戸歴史講座

12/8 (木) 江戸の甲冑 ~徳川家康とその四天王を中心に~

桃山時代から江戸時代にかけて、当世具足といわれる甲冑が数多く製作されました。徳川家康や家康四天王と称された武将たちの甲冑を、その構造や特徴を歴史とともに説明します。

日時:12月8日(木)19:00~21:00(18:30より受付)
講師:池田宏(東京国立博物館 上席研究員)
会場:4階 スタジオプラス(小ホール)
定員:60名 参加料:1500円



12/14 (水) 縄文の江戸

縄文時代の集落は、なぜ広場と集団墓地を中心に堅穴住居を環状・同心円形に配置し、なぜ「環」という形にこだわり環状集落を形成・発展させていったのか。都内の遺跡の事例をもとに縄文集落の正体に迫ります。

日時:12月14日(水)19:00~20:30(18:30より受付) 講師:谷口 康浩(國學院大学教授) 会場:4階 スタジオプラス(小ホール) 定員:60名 参加料:1500円

12/22 (木) 江戸の仏像1200年の旅

武蔵国から江戸へ、仏像のあゆみは7世紀以来脈々と続いてきた。都内にある仏像を日本仏像史の流れの中に位置づけながら、それぞれの仏像の特徴を学び鑑賞します。

日時:12月22日(木)19:00~20:30(18:30より受付) 講師:山田磯夫(横浜美術大学准教授) 会場:4階 スタジオプラス(小ホール) 定員:60名 参加料:1500円

2012年 1/8 (日) ことわおん 箏演奏グループ「和音」新春邦楽コンサート

箏や演奏曲の解説を交えながらバラエティーに富んだ曲目をお届けします。間近で聴く男性による第三重奏は大迫力! 日本の伝統芸能である邦楽の繊細で力強いサウンドをお楽しみください。

日時:1月8日(日)14:00~15:30(13:30より受付)
出演:和音(菊池伸城、衣袋聖志、鈴木真一郎)
曲目:伝統曲「春の海」、歌謡曲「愛燦々」、「君をのせて」(映画「天空の城ラピュタ」より)、オリジナル曲「獅子の真の心」「雷来」など
会場:4階 スタジオプラス(小ホール) 定員:60名 入場料:2000円



1/14 (土) ほか 巨万の富を築いた男・本多静六の人生哲学(全3回) 第1回:日比谷公園を創った男 ~公園の中に図書館がある理由~

日本初の林学博士で、旧東京帝国大学教授であり、一代で億万長者となった本多静六。日比谷公園を設計・施工した人物です。莫大な富を社会に還元し続けた本多氏の人生哲学を3回にわたって語ります。

第1回 日比谷公園を創った男 ~公園の中に図書館がある理由~
第2回 本多静六の金銭哲学 ~巨万の富の作り方とその使い方~
第3回 本多静六の「アカマツ亡国論」~3.11から一年 高田松原と防災理念



日時:1月14日(土)、2月11日(土)、3月10日(土)
14:00~15:30(13:30より受付)
講師:遠山 益(お茶の水女子大学名誉教授 理学博士、本多静六氏の曾孫)
会場:地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
定員:150名
参加料:各回1000円